



Gikai



葉山町体育協会 会長 歌代 光雄さん

「総合型地域スポーツクラス」
設立への支援とご協力を



葉山町文化協会 会長 伊東 有子さん

町の文化施設老朽化の改善と、
みんなが「葉山町歌」を歌える町に



葉山消防団 団長 佐藤 孝さん

団員の充足率を上げる取り組みを
議員の皆さんにも考えてほしい

議会に 望む 求む 事



葉山まちづくり協会のみなさん

協会の動きをもっと知って、アド
バイスや提案してほしい



親子3代で活躍する
葉山災害ボランティアネットワークのメンバーさん

議会に「災害対策常任委員会」
の設置を



葉山芸術祭 実行委員のみなさん

行政や議会に活動団体の声が届く
仕組みを作してほしい

※表紙説明は裏面にあります。

- 令和3年度予算 … 2
- 第1回定例会報告 … 8
- 委員会レポート … 10
- 一般質問は13人が登壇 … 14

葉山町議会



令和3年度のテーマは **対話** を継続



「SDGs」と政治との関係を読み解く

2月19日から3月2日にかけて、予算特別委員会を開催し令和3年度の当初予算を審議しました。
72項目について活発な質疑を経て可決しました。
記事には、新規事業や前年度より増額した項目をピックアップしております。

教育

SDGs目標4 質の高い教育をみんなに

5077万円

すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

★ 未来につながる学校教育の充実

- コミュニティ・スクールの導入
- 小中一貫教育のあり方の検討
- 放課後サポート教室の開催(長柄小学校)
- 水泳授業の試行的な取り組み
(水泳授業の民間委託、
長柄小学校・一色小学校)
- 地域学校協働活動の実施(南郷中学校)
- 葉山中学校改修工事 体育館外装・トイレ
(4053万円)



葉山中学校体育館屋根



葉山中学校トイレ



民間の屋内プール

コロナ対策

SDGs目標3 すべての人に健康と福祉

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

★ 新型コロナウイルス感染症への対応

- 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取り組み
- 電子商品券の交付 1人に付き5000円
- 庁舎洗面台自動水洗化改修工事



役場庁舎トイレ洗面台

生きがい

1445万円

SDGs目標1 貧困をなくそう

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

SDGs目標4 質の高い教育をみんなに

★ 生涯スポーツ活動の推進

- 東京オリンピック開催ホストタウン活動に伴う選手の移動や宿泊に係る感染防止対策
- トップアスリートに学ぼう
- SUP教室・波乗り体験講座
- 南郷上ノ山公園 多目的トイレベビーシート設置



南郷上ノ山公園トイレ



SUP (スタンドアップパドルボード)

観光

SDGs目標9 産業と技術革新の基盤を

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

観光の振興

- 葉山海岸 花火大会補助金

★ 昨年の思いも打ち上げよう

防災

685万円

SDGs目標11 住み続けられるまちづくり

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

安全で安心なまちづくり

- 土砂災害及び高潮ハザードマップの作成
- ビックレスキューかながわの開催
- 避難所用感染症対策物品の整備
- 風水害時宿泊施設利用補助金
- 避難所ルール作成業務委託(英語表記)

生活

SDGs目標6 安全な水とトイレを世界中に

すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

SDGs目標14 海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

- 下水道整備事業 ★
令和2年 4.4億円 ▶ 令和3年 9.9億円【5億円増】
- 合併処理浄化槽の整備
設置整備補助金
令和2年 4039万円 ▶ 令和3年 5134万円
5人槽(転換) 35基 ▶ 40基
5人槽(増改築) 1基 ▶ 1基
7人槽(転換) 5基 ▶ 5基
7人槽(増改築) 1基 ▶ 1基
10人槽(転換) 5基 ★
維持管理補助金
令和2年 276万円 ▶ 令和3年 350万円

地域

SDGs目標16 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

- 地域まちづくり推進協議会補助金 ★
- 地域交通会議運営事業 ★

10人が質問しました



“人を育てる”葉山

学びを支える学校環境の整備

鈴木 庁舎内トイレ手洗い水道自動化予算が計上されているが、学校の手洗い場水道蛇口の改修もすべきだが。

部長 葉山中学校トイレ改修の実施設計で検討する。

鈴木 学校水泳授業の民間プール利用を推進すべきだが。

部長 今回は試行的取り組みの段階。今後は協議が必要だ。

金崎 学校給食センター計画が延期となり、小中学生の給食環境の改善に努めると答弁があった。しかし、予算化されていないのは何故か。

教育長 6月に財政見通しが出るまで準備段階として、調

査研究をしている。

金崎 「葉山の学びを止めない教育」への寄付金の使用目的は。

部長 放課後サポート教室を4小学校に広める。

待寺 減収予想の中、葉山中学校トイレと体育館外壁等改修工事の予算が、予定通り組まれ高く評価する。令和3年度教育予算の自己評価を伺う。

教育長 コロナ禍にあっても止むことなく前進し、学びが未来に続く教育を始める一年としたい。小中一貫教育の進化とコミュニケーションスクールの

全校指定を掲げ、南郷中学校でスタートさせる。ICT教育の面では、タブレットを利活用してリモート授業の実験を行う予定だ。また、教育環境の基盤整備として学校トイレの改修に確実に着手できる一

年とする。ソフト面では、放課後学習環境を保障する、サポート教室の見通しが立った。図書館のあり方やスポーツ推進も具体的な事業に着手する。総じて、学校教育も生涯学習も、*プログレッシブな予算の組み方ができたと思う。

姉妹(友好)都市交流の充実

土佐 那須町と御用邸友好都市の協定締結に向けて準備を進めているが、下田市との締結はいつ行えるか。



那須町の茶臼岳

町長 できれば令和3、4年度までに下田市と締結をすることが望ましい。

荒井 那須町と御用邸友好都市の締結には、私も同感である。以前、那須の動物王国の佐藤社長から「締結する事になるなら、フレミシユジャイ

アントという品種のウサギ(ベルギー産)を提供する」と申し出があり、町長には、その内容を報告しているが、覚えているか。

町長 大変よく、覚えている。

荒井 町長がその決断に至るまでの思いを文書であらわせない事を伺う。

町長 これからの町の発展とお互いに魅力の発信をしたり、今後は、議会の皆さまと一緒に、形にして着実に前進させたいと思う。

荒井 ジュニアキャンプの場所を御殿場から那須に変更できるか。

部長 御殿場でなければならぬことではないので、適した場所であれば、検討する事は可能だと思う。



下田市の「黒船」

“暮らしを守る”葉山

新型コロナウイルス対策

土佐 葉山町独自の持続化給付金第3弾などの検討は。

町長 何かできることがあればという気持ちだ。

鈴木 職員の特殊勤務手当については、先般の補正予算で金額の面で同意できずに否決した。コロナウイルス感染症はまだ長期化する。予算の対応をすべきだが。

町長 基本的に特別勤務手当としてコロナ対策は行うべきと考える。議論をしっかりと受け止め、改めて再上程する。

鈴木 コロナウイルス感染で、*パルスオキシメーター貸与や生活支援など、自宅待機者へ支援が必要と考えるがどうか。

部長 先ずは、活用と対応の情報収集に努めていく。

窪田 132万円の高額なサーマルカメラ1台より、他施設にも設置できる台数が必要では。

部長 庁舎玄関に正確・迅速性は必要。他施設へは部長会、対策本部を通じ考えていく。

窪田 高齢者コロナワクチン

接種率向上のために、交通手段としてタクシー券補助等は。

部長 国補助があれば乗合バスを回す検討は行なっている。

窪田 県が介護施設に対しPCR検査を実施した。町は子ども関連施設等へ検査補助を。

町長 簡易キットも出始めた。ワクチン対応を急ぐ方が有効性はあると考える。

窪田 コロナ禍で通学支援事業を行なった。高齢者にもタクシー券補助等の外出支援を。

部長 現送迎サービス対象枠を拡充することで対応したい。

近藤 電子商品券の交付が今夏にも町内経済の喚起を目的として行われる。鎌倉でも同様の施策が行われたが、大型商業施設やチェーン店は参加できない。葉山は。

部長 すべての店舗が対象だ。

近藤 過去2度にわたるプレミアム商品券の実績は。

部長 チェーン店等が約7割。

近藤 地元商店や事業所を優先すべきでは。

町長 全戸に電子カードと町のメッセージも同封する。

地域医療体制の充実

土佐 肺炎球菌ワクチンはい

つ接種できるのか。

部長 極力早い段階で医療機関に納入されるよう、引き続き働きかけを行う。

高齢者福祉の充実

窪田 ふれあい収集に、粗大

ごみを玄関まで出す別補助を。**部長** 引き続き検討したい。

緑の保全

近藤 湘南国際村グリーンパーク管理費用捻出のため、都市計画税を課税すべきでは。

町長 可能性のある提案だ。



湘南国際村グリーンパーク

循環型社会の形成

鈴木 ※プラスチックフリーの

視点から、陶器製コンポスト

も導入すべきだがどうか。

部長 ニーズを調査する。**金崎** クリーンセンター再整備事業1億1052万円の予算執行は債務負担行為の後か。

部長 準備行為なので、4月から早速作業に入る。

中村 分別や保管にかかる町民の負担、収集回数と収集経費、堆肥の品質等、気になる課題が多いが。

部長 モデル地区の実証実験の中で、町民とよく話し合いながら進めたい。

中村 町にとって重要な事業だ。町長の覚悟は。

町長 慎重に議論しながら、ゼロ・ウェイストに挑戦していきたい。

公共下水道の事業の推進

金崎 公共下水道事業は23・3%の伸び率だが。

部長 国補助額の関係から予算編成をした。

窪田 下水道事業は接続率向上が重要だが、中古住宅購入者に下水道接続補助の検討は。

部長 検討はできると思う。

消防・救急体制の確立

近藤 県内の消防分団員が6

年ぶりに減少し、葉山町でも定数の78%が現状だ。総務省

消防庁は、消防分団員に支払う報酬や出動手当の引き上げを視野に、有識者会議で議論し、今夏にも対策の方向性を打ち出す方針だ。これに対し

どのように対応するのか。**町長** 総務省が、過疎や消防団の弱体が危惧される自治体を考慮した判断と感ずる。

災害に強いまちづくりの推進

石岡 異常気象が続く中、新たな土砂災害指定区域の周知とハザードマップ刷新・配布を早目にするべきだが、その

予定時期は。**部長** 令和3年度以降、可及的速やかに対応し配布する。

石岡 風水害における宿泊費用助成制度について、条件が分かりづらいと思うが。

部長 制度を運用する際には、分かりやすく伝える必要があると認識した。事前登録を前提に、土砂災害警戒区域内に暮らす町民に加え、災害弱者

と呼ばれる障害者や高齢者、妊婦の方についても対象とする予定だ。

石岡 避難所や宿泊先までの移動・交通手段に対するフォロワーの検討は。

部長 別案件として取り組むべきで、対応はしっかりと考えていきたい。

土佐 ビッグレスキューの開催は。

部長 10月に実施の方向だ。**土佐** 開催できなかった場合、町で防災訓練などの実施は。

部長 訓練は実施したい。

相談体制の確立

中村 コロナ禍のもと、生活困窮者自立支援法の相談窓口

の設置を急ぐべきだが。**町長** 各課の窓口で対応している。相談しやすくなるよう検討したい。

“活力を創造する”葉山

臨御橋の架け替え

金崎 臨御橋架け替えプロジェクトの寄付金は1千万円のみを予定しているのか。

※用語の説明は、23ページをご覧ください

部長 寄付期間を延ばし、目標額2億円を目指す。

中村 寄付金を集めるためにも、もっと観光資源として宣伝をすべきと考えるが。

町長 観光ガイドマップへの掲載について課題としたい。

公共交通の環境整備

金崎 公共交通会議の内容は。具体的・実効性のある計画策定を目指す。

中村 公共交通会議には、まちづくりと福祉の視点が 필요하다。それぞれの専門家と住民を委員に入れるべきと思うが。

部長 住民による公募委員や社会福祉協議会が入っている。必要に応じて検討していく。

農業・水産業・商業の振興と連携の推進

土佐 密漁が犯罪と認識されていないのでは。

部長 犯罪ということ、徹底的に認識してもらおう。

伊藤 農地付き住宅の空き家を把握しているか。

部長 把握していない。

伊藤 市街化調整区域の農地

付き住宅は売買が難しいことは認識があるか。

部長 農家の住宅のための許可でありハードルが高いと考えている。

伊藤 葉山町の若手で20代30代の農業従事者を把握しているか。

部長 年齢別では把握していない。

伊藤 棚田の維持継続、農業従事者や入職者、後継者対策で、葉山町の方性は。

町長 文化的な位置付けとして、また教育的な観点から、そして自然の循環型社会の自然環境の大きな位置付けとして、非常に高い生物多様性でも高い位置を占めている。支援していく。



上山口の棚田

伊藤 中学校の職業体験は店舗型が多いが、農業や漁業、工業の選択肢の発信は。

部長 地域学校協働活動推進員の活動が活性化してくれば充実してくる。

観光の振興

土佐 海水浴場の開設は。

部長 神奈川県に早くガイドラインを出すように、要望している。

“みんなでき”の“葉山”

石岡 令和3年度町長施政方針のテーマは。

町長 コロナ影響で全くできなかった「対話」を引き続きテーマに置き、可能な限り行動に移していきたい。

公共施設の有効かつ適切な管理

待寺 下水道課だけではなく、役場全体のBCP策定を。

町長 指摘を受け改めて点検をする視点から、BCPの深度を高めた。今後の課題だ。

町長・教育長 質問

南郷上ノ山公園の総合的な管理について

問 駐車場の有料化は。

町長 メリット・デメリットも検討の上、令和4年度に向けて何かしらの結論を出す。

問 第2駐車場からの公園への歩道の整備は。

町長 現在大きな木もある。一定整備をすることで安全な公園アクセスと考える。検討の課題とする。

問 事務所の老朽化、総合的な施設への転換は。

町長 今後の公共施設全体のバランスの中で対応していく。



南郷上ノ山公園第2駐車場

特別委員会の動画



問 スケートボードパークの設置は。

町長 町内にスケートボードパークの要望はあるが、南郷上ノ山公園は山の上にあつて中高生からは行きにくいと見解を持たれている。

問 将来はハヤマステーションや南郷上ノ山公園、役場、図書館、郵便局を通ったバスルートの検討は。

町長 公共交通会議の中でさまざまな議論があると思う。

教育長 総合的な管理は都市計画課との協議が必要である。みんなの公共施設未来プロジェクトで保有・保全の方針の検証に加える。町全体で高齢者も含めたインクルーシブに対する考え方を反映していくか議論もある。

※用語の説明は、23ページをご覧ください

しおさい公園の新たなありかた検討について

問 町民によるイベントができないか。

町長 「らしさ」を守り、いろいろな可能性があり、今後の課題とし検討とする。

問 一景庵の運営を、就労支援施設等へ委託し、障害者雇用の積極的な促進になるのでは。

町長 全く問題なくできる。ただ、団体の体力的な部分とどこまで余裕があるかとも思う。手法としては大変面白いし、活躍できる場として提供できる。町としても誇るべき館になると思う。

問 しおさい公園のホームページ活用は。

教育長 お茶室に特化したコンテンツなど工夫の余地はある。検討の場で議論する。

問 皇室との繋がりが分かる展示コーナーの設置は。

教育長 限られたスペースで常設は難しいが、検討の余地はある。検討会で議論していただく。

国民健康保険特別会計へのその他一般会計繰出金について

問 平成30年度は基金残高がない中で9000万円の繰入だった。コロナで所得が減っている中で、なぜ7000万円だったのか。

町長 基本的には国全体で支えるべき保険制度のひとつとして、葉山町も十分機能しなければならぬ。コロナ禍における補填等を国が今回交付金等で見るとすべきものとして、減免措置に踏み切った。



町ホームページのしおさい公園

本会議における令和3年度の予算審議

窪田美樹、土佐洋子、山田由美、待寺真司、鈴木道子の各議員が討論を行いました。

賛成

一般会計

- 防災対策
 - ・高潮対策ハザードマップ制作を評価
 - ・風水害時宿泊施設利用補助金の新設を評価
- 液体ミルクの備蓄
- 葉山海岸花火大会の補助金増額
- 第6投票所の変更によって投票率向上が期待できる（いこいの家から図書館へ）
- 「平和を考える一日」は戦争の記憶を風化させない取り組み

国民健康保険特別会計

- 保険料を上げない取り組み
- 特定健診の葉山新港での事業の維持

介護保険特別会計

- 保険料抑制の取り組み

下水道事業会計

- 下山口地区の布設も順調で、過去最大の37ヘクタールの管渠整備

主な討論内容

反対

後期高齢者医療特別会計

- 75歳以上の人口増に伴い保険料がアップする仕組みで、制度そのものに無理がある

可決

予算特別委員会審査結果

◎一般会計	全会一致
◎国民健康保険特別会計	全会一致
◎後期高齢者医療特別会計	賛成多数
◎介護保険特別会計	全会一致
◎下水道事業会計	全会一致

〔委員長〕 飯山直樹

〔副委員長〕 山田由美

鈴木道子 / 窪田美樹 / 笠原俊一 / 土佐洋子

予算特別委員会から町への要望事項 !!

- ・公共施設の案内看板について英語併記をされたい
- ・地域自殺対策に積極的に取り組まれない
- ・老人クラブの存続方法について検討されたい
- ・病児保育への取り組みについて推進されたい
- ・公園トイレの洋式化と蛇口のハンドル式への転換を図られたい
- ・グリーンパークのあり方について検討されたい
- ・幹線道路の無電柱化を進められたい

第1回定例会

2月10日から3月17日まで開催しました。
令和3年度予算、令和2年度補正予算、
条例改正や陳情などを審査しました。

令和2年度葉山町一般会計補正予算(第8号)

歳入

衛生費国庫補助金

・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種体制確保事業補助金 (4397万円)

地方創生臨時交付金

(9694万円)
新型コロナウイルス感染症拡大防止等「新しい生活様式」への対応に係わる経費に対し、交付される。

市町村自治基盤強化総合補助金 (2805万円)

逗子市との連携事業(可燃ごみ焼却処理、容器包装プラスチック処理)に対し、交付される。

一般寄付金 (2000万円)
ふるさと納税の増に伴う増額。(令和3年1月末現在 1205件)

教育費寄付金 (60万円)
(令和3年1月末現在 153件)

学校給食センター整備事業債 (△2330万円)

2年度の学校給食センター整備工事の執行を取りやめたことに伴う減額。

小・中学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業債 (△6400万円)

財源調整により借入れをしないことに伴う減額。

歳出

コロナ禍によって事業を中止等したことに伴う減額(主な事業)

・みんなの公共施設未来プロジェクト推進事業 (△2047万円)

・ごみ収集事業 (△1549万円)

・クリーンセンター再整備事業 (△1052万円)

・海水浴場開設事業 (△1243万円)

・葉山町通学支援事業 (△1175万円)

・中学校施設管理事業(荷入室改修工事設計委託等) (△1190万円)

・学校給食センター整備事業 (△5100万円)

主な質疑

問 給食センター整備の今後の見通しは。

答 コロナ禍の影響を見極めながら、給食の早期実現に向け調査検討を進めている。

財政管理事業 (575万円)

ふるさと納税の増加に伴う関連経費の増額。

基金積立金 (3000万円)

財政調整基金に積み立てる。(参考)令和3年2月現在

(8億5044万円)
・公共公益施設整備基金積立金 (250万円)

(参考)令和2年度末現在 (10億7583万円)

庁舎管理維持事業 (132万円)

正面玄関に設置する体温計測用サーマルカメラの購入。

主な質疑

問 機種の新検討をしても、2階入口にも設置した方がいいと思うが。

答 台数を増やすことは、検討したい。

新型コロナウイルスワクチン予防接種事業(6395万円)
接種クーポン券郵送代・予約システム開発等準備委託料。
鳥獣保護管理対策事業 (122万円)

外来鳥獣捕獲数の増加に伴う委託料の増額。

主な質疑

問 近隣自治体との連携した捕獲が重要と思うが状況は。

答 検討を進めたい。

住宅リフォーム資金助成事業 (105万円)

申請の増加に伴う補助金の増額。

葉山町電子商品券交付事業 (2億131万円)

新型コロナウイルス対策として、町内消費喚起促進や町内事業者支援のため電子商品券を交付する。(1人につき5000円)

主な質疑

問 事業者への参加支援と確保、不慣れな高齢者等への対応、プラスチック製カードに



発達障害児等支援推進事業 (1211万円)

放課後等デイサービス利用回数の増加に伴う増額。

よる環境汚染、実際の使われ方等に懸念があるが。

答 今後の詰めの作業の中で、極力工夫していきたい。

問 地元事業者で利用されるようにすべきでは。

答 趣旨に沿うよう努めたい。残額の扱いは。

答 寄附の受け皿を検討中だ。



電子商品券イメージ

葉山町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

地域公共交通のあり方、地域住民に必要な旅客輸送の確保及び地域公共交通計画に関する事項を協議するための付属機関を設置する。

主な質疑

問 交通計画策定の期限は設けていないというが、議会質問に対し、いつまでも答えが出ない状況になるのでは。

答 その視点は考えていなかった。さまざまなニーズに対応するため専門家の議論に期待し、答えを出す。

問 計画策定の会議のはずだが、期限なしで諮問するのか。

答 第五次総合計画開始の令和7年度までには形にしたい。

問 アンケートも実施するというのが委員に町民は1人だ。民間業者は利益追求になるが、葉山の地形を考えれば不採算でも取り組む必要があるが。

答 地形的な状況も説明しながら交通専門家の意見も聞いていきたい。

葉山町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症に係わる特殊勤務手当を支給するため。

・ 救護等に従事した職員

1000円/日

・ 患者等の身体に接触する作業

1500円/日

主な質疑

問 近隣自治体はすでに取り組んでいるが、手当の状況は。

答 3000円または4000円で支給している。

問 三浦半島で消防特別応援協定がある。協定自治体で額が違うのは矛盾があるのでは。

答 手当は、各市町の条例に準じて支給される。

令和2年度葉山町一般会計補正予算(第9号)

歳入

国庫補助金

地方創生臨時交付金

(1億5381万円)

町債

減収補てん債(1620万円)

歳出

基金積立金

(1億5300万円)

財政調整基金に積み立てる。(参考)令和2年度末現在

(10億344万円)

新型コロナウイルスワクチン

予防接種事業

(1億4527万円)

ワクチン接種に係る経費

(報酬・諸手当等、ワクチン接種委託、送迎車両運行委託等)

主な質疑

問 送迎車両運行とあるが。

答 町内を4コースに分け、接種会場である福祉文化会館までマイクロバスを運行することを検討している。



接種会場の福祉文化会館

葉山町附属機関の設置に関する条例及び葉山町まちづくり条例の一部を改正する条例(議員提案)

議員による提案説明



近藤

条例制定後19年が経過し、社会情勢の変化や開発行為を考え、次の項目を加えた見直しが必要と考え提案するもの。

- ・ 委員を10人以内から公募を含めた12人以内を増員する
- ・ 公聴会開催後に町長の意見を添え公告する

・ 4年を超えない期間で審議会に諮り必要な措置を講ずる

提案者への主な質疑

問 委員を増やす事を、審議会と意見交換の場を設けたか。

答 特別持っていない。

問 公聴会后、町長の意見を求めるというが、逗子市では議会にも賛否をとっているが。

答 審査機関として議会の同意が得られなかった場合、行政側の理由にされる懸念を持っている。

反対討論



土佐



待寺



飯山



石岡



鈴木

- ・ 条例を見直すのであれば総合的に議論する必要がある。
- ・ 総務建設常任委員会で改正に向け動き、提案すべき。

賛成討論



金崎



窪田

- ・ 条例の検討を求める条例改正案であり、進めるべき。
- ・ 現審議会委員に町民が入っていない。PDCAサイクルによる進行管理は必要である。

葉山町下山口（仮称）大濱宅地開発事業計画の日照影響の情報共有する重要性の確認を求める陳情書

本事業は宅地造成であり、家屋建設まで含まれないため、隣接家屋への日照の影響についての情報提供と、その説明、懇談が重要であることの確認を求めているものです。

陳情取り下げ願ひ

陳情者から取り下げ書が出されたため。

取り下げに反対討論



委員会審査はすでに終了している。

議会審議を軽んじた前例にならないかを懸念する。

取り下げに賛成討論



国民の請願権に基づく陳情は、提出者の意思で行なわれるものであり、真摯に向かうしかない。

採決の結果、賛成少数により許可しないこととしました。（総務建設常任委員会でも審査し、本会議で決定）

委員会審査

陳情提出人から意見陳述を求め「日照影響への法的義務はないが、事業者の社会的責任として情報の開示、住環境への影響を隣接住民と議論の継続を求めたい」との陳述がありました。

委員会決定

委員から「担当課より、宅地開発事業者に日照影響への情報を求めるのは難しいとの説明を受け、事業者に情報の開示、共有を求めることは困難と考える」として不採択を求める意見と「2メートルを超える盛り土の上に家が建つことを考えれば、住民の気持ちに寄り添うべきである」として採択を求める意見に分かれ、採決の結果、賛成少数により不採択としました。

陳情に賛成討論

盛り土による環境の変化への不安は未だ払拭されず、住民への影響も考慮すべき。



陳情に反対討論

どのような家が建設されるのか把握できない造成業者に、日照影響の情報提出は困難である。



教育長の任命について

稲垣一郎氏を全会一致で同意しました。



教育長

Committee report

委員会レポート

皆さまから寄せられた 請願・陳情の審査
さまざまな、町の 問題・課題の改善、対策を議論します。

総務建設

緑化ブロックの使用面積を、緑化率の算定から除外することを求める陳情

良好な環境を残すために、緑化ブロックの使用面積は緑化率の算定から除外するように求めているものです。

審査結果

担当課から「駐車場の緑地部分については緑化率の算定から除外することで検討を進めている」との説明があり「陳情者の願意が駐車場に限定したものであると確認できた」「陳情の趣旨は町が検討している方向に添っている」との意見でまとまり、全会一致で趣旨了承としました。

委員長 飯山直樹

教育民生

後期高齢者医療保険の窓口負担の2割化の中止・撤回を求める意見書の提出について陳情書

政府は年収200万円以上を対象に窓口負担を1割から2割に引き上げを決定した。さらなる受診抑制を招きかねない。高齢者の健康を守るため、国に対し意見書の提出を求めているものです。

審査結果

委員から「コロナ禍の影響が数年続くであろう中で、制度変更は控えるべき」「年収200万円」という基準は再考すべき」「中止・撤回には賛同できないものの、制度変更の時期と年収基準の再考を求める意見書を提出すべき」との意見でまとまり、全会一致で趣旨了承としました。

加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成を求める陳情書

高齢化が進む中、補聴器を必要とする高齢者が増加している。補聴器は、値段も高額であり、低年金・無年金の高齢者は購入しなくてもできない。補聴器の普及は、健康寿命の延伸、医療費抑制に寄与するものであり、

●国に対して、加齢性難聴の補聴器購入に公的助成を求め意見書を提出すること。

●国に対して、特定健診の項目に「聴力検査」を入れるよう意見書を提出すること。

●町独自に助成制度の実施を検討すること。

以上を求めているものです。

審査結果

委員から「難聴にはさまざまあり判断が難しい」「町単独では、対象人数が多すぎて財政的に難しい」「町は補助制度について検討すべき」との意見が出されました。「特定健診の項目に聴力検査は必要である」との意見でまとまり、全会一致で趣旨了承とし、国に対して意見書を提出すべき

ものとなりました。

所管事務調査

●新型コロナウイルスワクチン接種準備の現状

●学校給食センター整備状況
用地造成工事の進捗状況について、宅造許可申請は近日中に認可予定である。

●GIGAスクール

各学校の校内ネットワーク工事、各教室の電源キャビネット設置工事の完了。タブレットの設定作業は3月末に完了予定である。

●少人数学級

学級編成は閣議決定で、公立小学校については1学級あたり上限35人と決定された。重要性は認識しているが、加配教員の課題がある。

●葉山町公共下水道事業アセ

ットマネジメント計画

下水道施設の老朽化や、人口減少による使用料収入の減少と職員減少など課題がある。予防保全管理と長寿命化で持続可能な下水道経営を目指す。

●葉山町公共下水道事業業務

継続計画

地震津波など、危機事象発

生時に、下水道の早期復旧の運用体制を目指す計画である。

●葉山町生活排水処理基本計画

令和2年は中間年次であり、人口推計などの見直しをした。●葉山町環境基本計画改定の延期
令和2年で本計画が満了となる。令和3年度中の改訂予定である。

●はやま気候非常事態宣言

町の豊かな自然環境を未来に継承し、脱炭素社会実現に向け積極的に行動し、パリ協定の目標を達成するため3月中に発出する。

●葉山町クリーンセンター再

整備事業

生ごみの資源化、堆肥化で循環型社会を目指す。令和3年に分別収集実験でモデル地区3町内会を募集し、10月から実施する。令和5年度には全町で実施する予定である。

以上、各担当課より説明を受けました。

委員長 鈴木道子

委員 笠原俊一

委員 石岡実成

委員 山梨崇仁

議会運営

議会広報

議会規則の一部改正

●議員活動と家庭生活との両立支援策として、出産・育児・介護などを議員活動に配慮し、欠席期間を規定しました。

●請願者の利便性の向上で、押印の義務を署名または記名押印に改めた。

議長選挙に係る所信表明

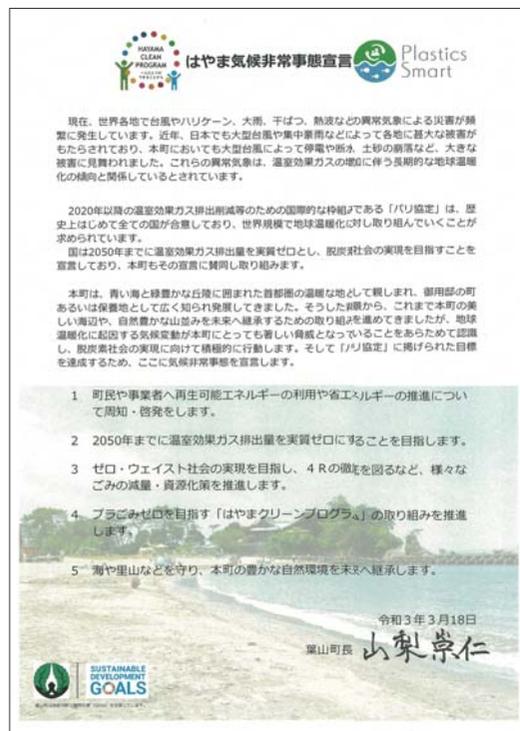
●議長選挙における所信表明は、本会議休憩中に登壇し、1人10分以内で行う。

●所信表明は公開とし、映像配信を行う。

委員 笠原俊一

委員 石岡実成

委員 山梨崇仁



現在、世界各地で台風やハリケーン、大雨、干ばつ、熱波などの異常気象による災害が頻発に発生しています。近年、日本でも大型台風や集中豪雨などによって各地に甚大な被害をもたらされており、本市においても大型台風によって停電や断水、土砂の崩落など、大きな被害に見舞われました。これらの異常気象は、温室効果ガスの増加に伴う長期的な地球温暖化の傾向と関係しているとされています。

2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための国際的な枠組である「パリ協定」は、歴史上はじめて全ての国が合意しており、世界規模で地球温暖化に対し取り組んでいくことが求められています。

国は2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとし、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しており、本市もその宣言に賛同し取り組めます。

本市は、青い海と緑豊かな丘陵に囲まれた首都圏の温暖な地として親しまれ、郡内部の可及るは保養地として広く知られ発展してきました。そうした背景から、これまで本市の美しい海辺や、自然豊かな山並みを未来へ継承するための取り組みを進めてきましたが、地球温暖化に起因する気候変動が本市にとって深刻な脅威となっていくことを明らかにするために、脱炭素社会の実現に向けて積極的に行動します。そして「パリ協定」に掲げられた目標を達成するため、ここに気候非常事態を宣言します。

- 1 市民や事業者へ再生可能エネルギーの利用や省エネルギーの推進について周知・啓発をします。
- 2 2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指します。
- 3 ゼロ・ウェイスト社会の実現を目指し、4Rの徹底を図るなど、様々なごみの減量・資源化策を推進します。
- 4 プラゴミゼロを目指す「はやまクリーンプログラム」の取り組みを推進します。
- 5 海や里山などを守り、本市の豊かな自然環境を未来へ継承します。

令和3年3月18日
山梨崇仁
葉山町長

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

はやま気候非常事態宣言

※用語の説明は、23ページをご覧ください

令和3年 葉山町議会 第1回定例会 議員別賛否結果

議案・陳情	議員氏名 (議席順)	飯山直樹	中村和雄	伊藤航平	山田由美	石岡実成	金崎ひさ	鈴木道子	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	窪田美樹	近藤昇一	待寺真司	伊東圭介	結果	関連記事
議案第6号	令和3年度葉山町一般会計予算	○	○	○	○ 討論	○	○	○ 討論	○	○	○ 討論	○ 討論	○	○ 討論	-	可決	P2
議案第7号	令和3年度葉山町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○ 討論	○	○	○ 討論	○	○	○ 討論	○ 討論	○	○ 討論	-	可決	P7
議案第8号	令和3年度葉山町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○ 討論	○	○	○ 討論	○	○	○ 討論	× 討論	×	○ 討論	-	可決	P7
議案第9号	令和3年度葉山町介護保険特別会計予算	○	○	○	○ 討論	○	○	○ 討論	○	○	○ 討論	○ 討論	○	○ 討論	-	可決	P7
議案第10号	令和3年度葉山町下水道事業会計予算	○	○	○	○ 討論	○	○	○ 討論	○	○	○ 討論	○ 討論	○	○ 討論	-	可決	P7
議案第13号	葉山町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	×	× 討論	○	×	○	×	× 討論	×	× 討論	○	×	× 討論	×	-	否決	P9
議会議案第3-2号	葉山町附属機関の設置に関する条例及び葉山町まちづくり条例の一部を改正する条例(議員提案)	× 討論	×	×	○	× 討論	○ 討論	× 討論	×	×	× 討論	○ 討論	◎	× 討論	-	否決	P9
取下げ第3-2号	「陳情第3-5号 葉山町下山口(仮称)大濱宅地開発事業計画の日照影響の情報を共有する重要性の確認を求める陳情書」の取下げについて	×	× 討論	×	○ 討論	× 討論	○ 討論	× 討論	×	×	× 討論	○ 討論	○ 討論	× 討論	-	不許可	P10
陳情第3-5号	葉山町下山口(仮称)大濱宅地開発事業計画の日照影響の情報を共有する重要性の確認を求める陳情書	×	× 討論	×	○ 討論	× 討論	× 討論	×	×	×	○ 討論	○ 討論	○ 討論	×	-	不採択	P10

○は賛成 ×は反対 ◎は提案者 ※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第1号	令和2年度葉山町一般会計補正予算(第8号)	可決	P8
議案第2号	令和2年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	-
議案第3号	令和2年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	-
議案第4号	令和2年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	-
議案第5号	令和2年度葉山町下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	-
議案第11号	葉山町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第12号	葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第14号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第15号	葉山町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第16号	財産の取得について(Chromebook タブレット端末2,511台 他)	可決	-
議案第17号	令和2年度葉山町一般会計補正予算(第9号)	可決	P9
議案第18号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第19号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第20号	教育長の任命について	同意	P10
議会議案第3-1号	葉山町議会会議規則の一部を改正する規則	可決	-
議会議案第3-3号	後期高齢者医療保険の窓口負担2割化の導入時期及び年収基準の見直しを求める意見書	可決	P13
議会議案第3-4号	特定健康診査等における聴力検査・健診を求める意見書	可決	P13
陳情第3-1号	緑化ブロックの使用面積を、緑化率の算定から除外することを求める陳情	趣旨了承	P10
陳情第3-3号	後期高齢者医療保険の窓口負担の2割化の中止・撤回を求める意見書の提出について陳情書	趣旨了承	P10
陳情第3-4号	加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成を求める陳情書	趣旨了承	P11



“議会だより”No.140が令和2年度 町村議会広報全国コンクールにおいて 奨励賞を受賞。(葉山町議会として初の受賞)



議員と事務局ではほぼ100%手作り(デザイン・レイアウト・編集・校正)で編集している広報紙です。

現メンバーでこの2年間、新たなデザインや読みやすさ、親しみやすさ、を合言葉に試行錯誤を重ね、新しい紙面づくりに挑戦し続けてきました。

今回は、その努力を評価していただいたものと思っておりますが、歴代議員の真面目過ぎる程の地道な作業の積み重ねがあったからこそその受賞だとも思います。

今後は、更に上を目指し、皆さまに愛される『議会だより』を創っていきたいと思います。

委員長 石岡 実成



「議会だより」アンケートの調査結果について

令和2年11月26日から令和3年1月31日まで実施した「議会だより」のアンケート調査は、66人の方々から回答をいただきました。

ご協力いただきました皆さまありがとうございました。調査結果に関しては、議会ホームページにて公表しておりますのでご覧ください。

頂戴しましたご意見、ご指摘は、今後の「議会だより」の編集のみならず、あり方に対しても議論を深め役立てていきます。

調査結果はコチラ→



ご協力
ありがとうございました!!
有難うございました!!

意見書を提出しました

特定健康診査等における聴力検査・健診を求める意見書

近年、聴力の衰えと認知機能の低下の関係について研究が進んでおり、厚生労働省の認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)でも、難聴は認知症の危険因子のひとつとされている。

加齢性難聴は、気づきにくい場合も多く、定期的な聴力検査・健診による早期発見が重要で、難聴による認知症予防、健康寿命の延伸、ひいては医療費の抑制につながる。

しかし、聴力検査・健診は、労働安全衛生法の定期健康診断を受診する機会のない者は、自ら人間ドック等を受診するほかなく、費用的負担も大きい。

よって、40歳から対象となっている特定健康診査等に併せて聴力検査・健診を実施し、定期的な検査・健診機会を創設するよう求めるものである。

地方自治法第99条の規定により、国または関係行政庁へ送付しました。

後期高齢者医療保険の窓口負担2割化の導入時期及び年収基準の見直しを求める意見書

政府は2021年2月5日、年収200万円以上の後期高齢者の医療費窓口負担を2割に引き上げる法案を閣議決定し、今通常国会での成立を目指している。報道では、導入の時期は2022年度後半とある。

現在、世界は新型コロナウイルス感染症の渦中であり、医療費窓口負担2割化は受診抑制を招きかねないことから、コロナ渦の影響が数年に及ぶと予測される中での制度変更は控えるべきである。

また、年収200万円以上を窓口負担2割化の基準としているが、消費税が増税された中、基準値に近い世帯の家計への負担は大きなものとする。

よって、導入時期の延期と対象者の基準について再検討するよう、強く要望する。

※紙面の都合上要約しています。

今回は、13人の議員がそれぞれの想いで挑みました!!



質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取りますと議会本会議での一般質問の動画を観ることが出来ます。また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



葉山町議会

町長

5月上旬からの接種を見込む

新型コロナウイルスの
ワクチン接種は

土佐洋子



- 問 ワクチン接種の予約システムの方法は。
- 部長 業者に委託をして、コールセンターと予約システムを運営したい。
- 問 1日に対応できる接種の人数は。
- 部長 だいたい180接種ぐらい。
- 問 接種会場へのバスの運行ルートは。
- 部長 警察や関係機関との協議中である。
- 問 接種会場へ行けない方たちへの対応は。
- 部長 出向いて接種をすることを検討中。
- 問 希望者へのワクチン接種が完了するのは。
- 部長 10月末かと思うが、到底無理だ。
- 問 ※デーパーフリーザーの停電時の対応は。

環境部長

被害の可能性がある箇所は
剪定する

町有緑地の
管理は

鈴木道子



- 問 町有緑地を町民が伐採し、その伐採した樹木も放置されたままの状況がある。多量のプラゴミ、空き缶などのごみの散乱も見受けられた。伐採により、水源涵養機能を低下させ、崩落が見られる土砂の状況もある。緑地の景観保全と防災に配慮し、平成16年の陳情結果に則った対処を正確に執行すべきだが。
- 部長 被害の可能性がある箇所は剪定によりリスク低減の方策をとっている。
- 町長 大変残念な写真を見た。回収をしていただく運動も今後、必要と思う。
- 問 給食への地場産食材使用について、コ

町長・教育委員会部局とのガチンコ勝負!!

町政を問う



一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人あたりの持ち時間は答弁を含め60分です。

掲載している内容は、質問者自身が原稿作成をし広報常任委員会が編集校正したものです。全文は、議会ホームページのほか、議会事務局でもご覧頂けます。

一般



部長 無停電電源装置を配備し、仮に停電が起きても瞬時に20時間を確保している。

生涯スポーツ活動の推進

問 緊急事態宣言下でも、町民の健康を考えて南郷公園の有料施設の開放をすべきでは。

部長 医療現場を守るといった観点から理解してほしい。

ウォーターセーフティー

問 海に入る前や学校の水泳の授業では、ウォーターセーフティーを学ぶべきではないか。

教育長 マリンスポーツ事業を実施する際には、可能な限りウォーターセーフティーの有資格者である指導者に講師を依頼し、水辺における危機回避能力を身につける指導を取り入れたい。学校の水泳授業では、着衣水泳を実施し、安全管理、安全指導に努めている。

問 体育の授業のとき肌着の着用禁止は。

部長 町内でそのような事実はない。



「運動不足による健康二次被害を防ぐ」
スポーツ庁 ホームページより

ナ禍に対する農水省事業で今回の提供は100%葉山牛なのか。

部長 そのとおりだ。

問 今後も地場産食材として葉山牛を年1回くらいは使用すべきではないか。

部長 単価計算など検討が必要だ。

問 外国人の小学校入学希望があるかどうか。

部長 法律で規定がある。現状の希望者については、4月入学に向けて進んでいる。

問 公共施設については、ピクトグラムや英語表記もすべきだがどうか。

部長 消防庁舎横の案内板の表記については、英語表記もできるよう調整中だ。

問 新型コロナウイルス感染症対策への取り組みとして、学校も含めた公共施設全般での水道蛇口自動水栓化やハンドル式蛇口への変換が必要と考えるがどうか。

部長 多人数の往来場所は考える。



伐採し放置されたままの樹木

※用語の説明は、23ページをご覧ください

小児医療費
助成事業高校生
卒業時まで拡充を

待寺真司



町長
義務教育の範疇で
責務を果たす

問 小児医療費助成事業を高校卒業時まで拡充するには、所得制限なしで1500万円必要とのこと。高校入学時や部活の経費、大学受験など保護者負担は大きい。県内2自治体で実施している。拡充の判断を下す時期だが、
町長 義務教育の範疇に責務を果たしたい。高校生奨学制度で支えることに注力していく。
問 産後ケア事業は、生まれてきた命を大切に社会で守るため、とても大切な事業だ。宿泊型の個人3割負担の軽減を図るべきだが、
町長 徐々に拡充してきた経緯がある。逗葉医師会の先生方と料金的な面など意見を伺う。

南郷上ノ山公園に
*PFIで多機能な
利用施設を

中村和雄



町長
今後の研究課題としたい

南郷上ノ山公園
問 グラウンドゴルフ場の整備を。
町長 他の場所も含め、他のスポーツも使えるような形で、今後の検討課題としたい。
問 もっと町民に利用してもらえるように、カフェやレストランもある、避難所を兼ねた体育館を、*PFIを活用して造らないか。
町長 常設の建物の考えは今はないので、今後の研究課題としたい。
緑地の保全と活用
問 葉桜児童館東南の緑地を、地元住民が伐採し利用したいと言っているが。

地域通貨やIT
による町内業者の
発信・活性化は

伊藤航平



町長
円通貨を使った
プラットフォームを作りたい

商工の発展
問 リフォーム助成制度を使うときに、町内業者(社)の探し方がわからないが。
部長 団体を介してまず充実させ、またプラットフォームみたいなものを作りたい。
問 リフォーム助成制度の経済効果は。
部長 申請金額の見積もり金額ベースは9600万円。令和3年度はもっとあがって来る。
問 リフォーム助成制度の補助金を5万円から増額できないか。
部長 財政的に厳しい。
問 *スマホアプリを利用して、地域通貨や



生まれてきた命を大切に

問 高校生奨学事業は復活当初360万円の予算を組んだ。利用率が低いから予算の減額ではなく、現行の9月・3月支給を5月・11月に変更するなど利用環境整備を図るべきだが。

教育長 広い意味での福祉的な性格を持った事業と理解している。修学旅行の積み立てやPTA活動や部活動の経費など、現に負担しているものに相応しい援助ができていないのか実態を見極めた上で、増額支給の検討を行う。

問 後期高齢者医療保険の2022年度改正で、一定の所得がある1号被保険者の窓口負担が1割増える。年収目安が200万円だ。議会から見直しの意見書を上げたが町長の思いは。

町長 国全体の判断を尊重しながら、保険制度の運用に適切な意見を上げていくが、町としても、できる負担はしっかりと取っていく。

その他の質問 クリーンセンター再整備事業の進捗状況、ごみ分別・収集方法の変更など



南郷上ノ山公園

部長 ※アダプト制度もある。町と町民にとってどういう形がいいか、検討していきたい。

誰ひとり取り残さない行政

問 葉山町民を対象とする県社協の相談窓口「ほっとステーション」への町民相談が増えている。町に一時相談窓口を設けないか。

部長 各担当窓口で各種相談に応じ、福祉課・町社協との連携にも務めている。

問 電子商品券の狙いは地域経済支援のほず。大手スーパーも対象とする方針に変わりは。

部長 方針に変わりはないが、地元が頑張れる施策を立てようと検討中だ。

町民の生活と活動を支える交通システム

問 電子商品券の利用促進のため、地域公共交通の実証実験の意味も含めて、先行的にバス運行をしないか。

町長 ワクチン接種会場への送迎バスの運行も含め、前向きに検討したい。



店舗を持たない工業者

ボランティアポイント、補助金などの一括運用はできないか。

町長 円通貨を使ったプラットフォームを作りたい。

問 コロナ対策の電子商品券の登録や使用方法などの相談は※AIチャットでも可能か。

部長 基本はコールセンターの対応になる。

問 電子商品券の登録店はホームページ的なページができるのか。

部長 ホームページまでではないが、1店舗1店舗フォローして写真等は委託会社が何う。

問 店舗を持っていない職種ではなく、工業者が発信し見つけてもらえる方法は。

部長 アプリに掲載され、検索できる。

問 葉山町のアプリなのか。

部長 汎用性のあるアプリを葉山町バージョンにする形。入手はアプリの販売サイトでダウンロードする。

※用語の説明は、23ページをご覧ください

高齢者に
タクシー券補助を

窪田美樹



福祉部長

バスは回数制限がないのが
メリットだ

問 高齢者の外出の機会が減った。山坂が多い葉山。タクシー券補助を実施し、ふれあいバス購入補助と選択できるように取り組みを。

部長 バスは回数制限がないのがメリットだ。

問 介護者の病気や冠婚葬祭等で介護できない場合の、要介護者の緊急一時保護の実施は。

部長 近隣事例など勉強したい。

問 災害時要支援者には、避難行動の個別計画が必要だ。個人状況を把握しているケアマネージャー等と連携しての計画の策定は。

部長 現在は、福祉課と防災安全課の連携に留まっているが、先進自治体を研究する。

携帯電話基地局
建設の規制は

近藤昇一



都市経済部長

住民の合意を得られるよう
指導する

問 携帯電話の新規参入に伴い、町内各所に基地局建設が進められている。健康被害を心配する声もある。最低限、地区計画区域内での規制が必要では。

部長 規制は難しい。住民の合意が得られるよう指導したい。

問 第5世代通信システムは、小さなアンテナで行政にも報告がなく数多く設置される。基地局設置計画を広く周知させ、住民説明会の実施、環境因子に敏感な人々のため、学校や病院周辺に基地局を設置させないための対策が必要では。

南郷上ノ山公園の
駐車場有料化は
慎重な対応を

飯山直樹



教育部長

町民に不利益のないよう
検討する

問 南郷上ノ山公園は、町民にとって山側の憩いの場であり、発展の余地がある公園である。迷惑駐車防止対策を主たる目的とする駐車場有料化は、町民の不利益にならないよう慎重な対応を。

部長 施設利用者は減免、迷惑駐車のみ満額徴収など町民に不利益のないよう検討する。

問 通常利用時間は数時間程度。通常利用は無料や一律安価にし、それ以上では課金や迷惑駐車のみ徴収するなどにすべき。

部長 有人対応ではなくコインパーキング式を検討中だが、そうした設定は可能と考える。

学校施設内での学童保育

問 小学校で放課後サポート教室が始まるが、各学校で順次学童保育を行なう計画があった。子ども達の安全のためにも、学習の場とは別に学校施設内での学童は必要な事業と思うが。

部長 コロナの影響で公共施設再整備計画が遅れている。調整を図り取り組んでいきたい。

プラごみ削減への取り組み

問 葉山は気候非常事態宣言をするが、具体的な行動が重要だ。町民の協力を得るためにも葉山の海洋ごみ等、現状を知らせる広報を。

部長 わかりやすく、工夫をして周知したい。

問 プラごみ削減にデポジットやリユース食器を利用する町内業者への補助金や、子どもが生活の中で脱炭素社会に繋がる学びの場は。

教育長 S D G s のようなことが大きな目標となり、ますます必要になると考える。

その他の質問 国民健康保険料減免制度



葉山の海洋ごみ
(撮影 武本匡弘 共同通信提供)

部長 実態を調べ、調査・研究したい。

問 議員提案のまちづくり条例は否決されたが、条例見直しに向けた町長の考えは。

町長 議会の議論は参考になった。きっかけとして、必要に応じた改正議論を行う。

問 中学校給食の実施は当初2020年度とされていたものが、2022年9月とされ、コロナ禍のもとさらに1年以上延びる可能性がある。議会決議は暫定的に早期実施を求めている。どのように受け止めているのか。

部長 決議は重く受け止めている。給食センター建設の再開の検討と、供用開始までのつなぎとして、民間を活用した中学校給食の2022年9月実施をめざす。

問 消防団員確保のため処遇改善に向けた国の有識者会議の結論が6月頃出されるが。

消防長 結論をもとに本団とも協議し、充実強化したい。



携帯電話の基地局

問 平日は満車にならない。迷惑駐車抑制とすれば休日のみの有料化か。

部長 迷惑駐車は平日の方が多く、休日のみとは考えていない。

地域公共交通会議

問 コロナによるリモート化で、交通は近所の利便性へとシフトする。目指す形は。

部長 現状のバス便は目減りさせず、その上で交通不便を解消できるさまざまな手段を模索し、実状に合った形を作りたい。

医療体制整備

問 病床数世界一の日本が、欧米より遥かに少ない感染者数で医療崩壊の危機となる。県は病床数国内ワースト。今後、総合的病院整備の契機になるのでは。

町長 コロナ対応による反省から、総合的病院の議論も含めて、従前の方向から大きく変化があると感じている。



南郷上ノ山公園 駐車場

ハマステーション
周辺の問題は

山田由美

都市経済部長
商工会と町で課題は
共有している

ハマステーション周辺の問題

問 近隣住民から、換気扇の油の匂いが気になる、トイレ出入り口が住宅側から丸見えである、車の渋滞がひどい等の声が出ている。運営は商工会と承知しているが、町も設立に関わっているのでお尋ねする。

部長 町からも問い合わせはしたが、ステーション側に聞いてもらうのが一番だ。

問 イトーピアに上がる坂道の途中で、ステーションを目指して道路を横断する方が目につく。横断歩道の設置はできないか。イトーピア自治会館前に横断歩道があるが、見通し

新型コロナの
ワクチン入荷量は

金崎ひさ

福祉部長
2回接種で500人分だ

問 4月末週に入荷するコロナワクチン量は、**部長** 975接種分。2回接種なので約500人分だ。
問 5月からの集団接種に送迎バスが出るが、時刻表、コースなどの周知は。
部長 ワクチン特集の号外を配布する。

自殺対策

問 自殺対策として相談窓口の設置を。
町長 窓口を作って終わりではなく、いろいろな形で問題解決できるように向き合いたい。

ごみ処理

問 ごみ処理に関して、2市1町の広域処理が最終目標なのか。

プラスチックごみの
分別方法を分かり易く
周知してほしい

石岡実成

環境部長
丁寧な周知、
広報に努めていく

町のPRの今後

問 臨御橋の寄付について、町長自らの顔と声の発信で増収を見込んでみては。

町長 案として、ありがたく検討する。

問 観光協会の組織再編に伴い、最低限ホームページのリニューアルと葉山の魅力を活かした日帰り観光プランの構築、体験型の新規事業を軸にした施策の検討を提案するが。

部長 ホームページは既にリニューアルに向けて着手している。また、提案された事業案については、観光資源と町が持つありとあらゆる産業や商工業のプラットホームとしての

がきかず渡りにくい。

部長 横断歩道の移設話はあったと聞くが、県の公安委員会で不採択になった。

庁舎等公共施設内コロナ対策

問 換気が足りているかの目安として、二酸化炭素濃度測定装置の利用は。また、加湿器やオゾン発生装置等の利用は。

部長 基本的に、機械換気で足りている。

自転車保険 損害賠償保険

問 自転車通学の生徒は全員、保険に加入していると聞くが、町民全体の加入率は。

部長 それは不明だが、令和2年の県の調査では約75%の加入率だ。

老々介護 認々介護

問 単身高齢者には支援があるが、夫婦揃って認知症になったような場合、外部からの発見が遅れることがある。町としての方策は。

部長 地域での助け合いを推進する。



販わうハヤマステーション

町長 時間軸の問題として、数十年先には三浦半島全体での処理が理想的だと思っている。

問 当面の処理として生ごみを受け持ち、町内会・自治会の協力を仰ぐとのことだが。

部長 モデル地区を徐々に増やし、お互いに検証しながらより良い収集方法を模索する。

学校給食センター

問 学校給食センター用地は、令和4年9月に供用できるよう整地をすると覚書にあるが、参事 少なくとも1年程度は延びる。

問 造成許可は。

部長 3月4日に県土木から許可が下りた。

空家対策

問 葉山の別荘地第1号の研修センターが官民一体となって良い方向に進んだ。これこそまちづくりの神髄と考えるが。

町長 地域と連携した開発に向き合う姿勢を今後もしっかりと努めあげたい。



ワクチン保管用の冷凍庫

役割を果たし、上手くマッチングさせることが観光協会の仕事かなと思っっているので、さまざまな可能性を模索しながら、組み合わせを巧く仕掛けて色々な方々にとチョイスしてもらおうと考えている。

地域コミュニティのあり方

問 今の自治会・町内会を、なり手不足や時代の変化に対応した組織へ生まれ変わらせるために、新たな取り組みを始めている先進自治体を例に葉山モデルを構築してみている。

部長 提案された資料を参考に検討していく。

ごみ分別の今後の施策

問 プラスチックごみ回収時の間違いごみが問題になっているが、改めて分別方法の周知とホームページ等の情報のアップデート、見せ方の工夫など環境課と政策課と連携しながらアピールするべきでは。

部長 丁寧な周知、広報に努めていく。



Facebookに投稿されたプラスチックごみの間違った出し方

健康促進は
ウィズコロナ時代の

笠原俊一



教育長
健康促進対策が必要だ

問 スポーツ庁指針や、今後2年間程度はウィズコロナ時代が続く予測の町民の健康管理を伺う。

町長 アフターコロナでのスポーツ、健康増進対策は積極的に取り組みたい。

教育長 緊急事態宣言の解除後には、安心・安全な活動を保障しながら、外に出よう、健康のために運動しようという呼びかけと、対応する施策を考える必要がある。

里山の保全

問 里山の保全や活用については、町の総合計画、みどりの基本計画、森林整備計画、環

合併処理浄化槽
補助事業の推進は

荒井直彦



町長
水環境向上のため
欠かせない施策である

問 合併処理浄化槽の補助金が足りなくなっても進める事業では。

町長 兼ねてより水環境向上のため欠かせない施策であり、50基と高い目標ではあるが、着実にこなし、国と県の協力を引き続き行ってもらえるように尽力する。

問 いつから開始した事業なのか。

部長 汚水処理施設整備計画ができて、平成29年度から町の補助分について上乗せして行っている事業である。

問 最終目標と現在の状況は。

部長 目標は690基だ。実績は、平成29年度27

議員懇談会

「はやま気候非常事態宣言」について

世界各地で異常気象による災害が頻発しており、本町においても大型台風によって停電や断水、土砂の崩落など大きな被害に見舞われました。これらの異常気象は、温室効果ガスの増加に伴う長期的な地球温暖化の傾向と関係していることとされ、本町にとっても著しい脅威となっていることを改めて認識し、脱炭素社会の実現に向け積極的に行動するために「はやま気候非常事態宣言」を3月に発することとした。

「旧役場前バス停上屋」の設計案について

数年の懸案であった旧役場バス停上屋の設計案が示されました。議員からは、車いす用のスロープ設置等の意見がありました。



旧役場前バス停上屋イメージパース

全員協議会

友好都市締結について

現存する御用邸は、本町の「葉山御用邸」のほか、栃木県那須町の「那須御用邸」、静岡県下田市の「須崎御用邸」となっており、今なお、天皇・皇后両陛下や皇族方のご静養の場として使用されています。

この1市2町は「御用邸のあるまち」ロイヤルリゾートの地として全国的にまちの知名度は



町有緑地

境基本計画に記載がある。町有緑地の整備方針はどう考えるのか。

町長 産業振興課を中心に、なるべく整備する方針で安全管理や周知、啓発しながら、山と付き合う町にしたい。

問 緑の質の向上を図る計画や、空き地に繁茂した雑草等の除去に関する条例もあるが、過去この条例の発動はあったか。

消防長 昭和45年制定の条例だが、経過や発動等の把握はしていない。

問 里山の管理に※アダプト制度や町民農園として活用してはどうか。

町長 地域の方々が緑地として管理し、楽しめる空間の作業は、むしろありがたい。本来あるべき緑地の姿でぜひ進めたい。

教育長 こうした事業から生じる地域の方々と子どもたちの交流は、ふるさと教育や体験活動となり、教育と山の関係が深まると思う。



合併処理浄化槽

基、平成30年度30基、令和元年度34基、令和2年度38基で累計は、120基の転換がおこなわれた。

問 県とは、令和3年度の予算は、どのように調整しているのか。

部長 令和2年度と同等の金額を要望し、調整をしている。

問 50基の目標を越えても、なんとか補助金を念出して進める事業であり、どのような調整が県とは可能か。

副町長 令和2年度、突然、県から30基分で補助金の打ち切りの話があったが、調整の結果、追加された。国・県・町が連携して進める事業であり、今後は町の状況を十分説明して、引き続き県と密に連携を取り、理解してもらえるように務めていく。

※用語の説明は、下記をご覧ください

※「議会だより 144号」用語の説明

- ・ **プログレッシブ** = 「革新的」「進行的」の意味。
- ・ **パルスオキシメーター** = 指先などに光を透過させ動脈血中の酸素飽和度を計測する測定器。
- ・ **プラスチックフリー** = プラスチックを使用しないこと。「脱プラスチック」とも言う。
- ・ **BCP** = 「Business Continuity Plan」の略。「事業継続計画」の意味。
- ・ **GIGA スクール** = 義務教育の児童生徒に、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境の整備すること。
- ・ **ディープフリーザー** = 薬品などをマイナス40℃以下で保存保管する超低温冷蔵庫。
- ・ **ウォーターセーフティ** = 水辺で自分の安全を確保すること。
- ・ **ピクトグラム** = 伝えたい情報を視覚的に示すために概念を単純に絵で表現したもの。
- ・ **アダプト制度** = 公園などの公共施設を住民が維持管理する、行政と住民の協働制度のこと。
- ・ **スマホアプリ** = スマートフォン専用のアプリケーションソフトのこと
- ・ **PFI** = 「Private Finance Initiative」の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力、技術的能力を活用して行うこと。
- ・ **AIチャット** = AI(人工知能)技術を活用して、チャット(インターネット上のリアルタイムコミュニケーション機能)で質問に対して自動的に回答すること。



高く、海や山などの自然環境に恵まれている自治体という点で共通しています。今回、こうした共通点と防災面での相互応援体制の強化などを目的として、新たな国内友好都市締結に向けて協議を進めたいと町から説明があり、議会としても全員賛成で承認しました。

記 議長 伊東圭介

紙説明

葉山町議会では、これまで、広聴会の一端として、町のさまざまな団体と意見交換の場を設けてきました。

今回は、過去、意見交換会を実施した6団体（葉山町消防団、葉山災害ボランティアネットワーク、葉山まちづくり協会、葉山町体育協会、葉山町文化協会、葉山芸術祭）の代表者、メンバーの方に『今後の議会に望む・求む事』と題して、ご意見を伺いました。

その全ての団体から、定期的な議会との交流を求める声があり、官民一体となった「協働のまちづくり」に、議会が担う役割が大きいことを改めて痛感しました。

また、ここには載せきれない沢山の要望や熱い想いを伺いましたが、いただいた要望は「広聴会」だけに留まらず、今後の議会運営に取り入れていきたいと思えます。

その他の要望（一部抜粋）

- ・議会の皆さんにも、まちづくり協会の会員になってほしい。
- ・災害への備えは常にアップデートを。
- ・議会に避難所・災害ボランティアセンター常任委員会を。
- ・「福祉文化会館」の施設改修と設備の改善を。
- ・議員の皆さんに、文化活動への積極的な参加を。
- ・葉山芸術祭他、色んな町民活動を知って参加してほしい。
- ・町民活動の記録を集積、保存

保管する施設を設立。更に、葉山の文化芸術産業振興の環境作りに努めてほしい。



第29回葉山芸術祭 4/24sat-5/16sun
新型コロナ禍の中、新たな試みとして、オンラインと屋外展示による参加企画で開催。
<https://www.hayama-artfes.org/>

6団体からヒアリング

人事異動

新議会事務局局長



行谷 友良
(前税務課長)
よろしくお願ひします。

前議会事務局局長



田丸 良一
(新教育部長)
お世話になりました。

次回定例会は

6/15-6/30 の予定です。

議案審議

6/15(火)
6/29(火)

一般質問

6/15(火)
6/16(水)
6/17(木)

各常任委員会

6/18(金)
6/21(月)
6/22(火)
6/23(水)

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。また、一般質問は、質問者数によって日程が変動します。詳しくは議会ホームページにてご確認ください。



※新型コロナウイルス感染症対策として、本会議場及び協議会室での傍聴を調整・制限させていただきます。ご理解ご協力をお願いします。

議会本会議のライブ中継が、スマートフォン、タブレットでも視聴できるようになりました!!



視聴はコチラ



また、常任委員会の中継、録画動画はYouTubeで視聴できます。



チャンネル登録はコチラ



この機会に、ぜひ、一度ご覧になってください。

録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

議会の最新情報は…ホームページをご覧ください!! <https://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

編集後記

「議会だより」の編集に携わるのは、これで2度目になります。最初は何も分からず慣例に準った作業を黙々と続けた2年間で、その間「議会だより」そのものの存在意義やあり方に違和感を覚え、自分が委員長になった際は思い切った改革を図ろうと、調査、研究を密かに続けてきました。

2年前に委員長に就任し、表紙デザインを大幅に変更、見せ方や特集記事等「新しい議会だより」の編集を続けてきました。

任期を終える前に、全国町村議会広報コンクールで一定の評価を得られたことは素直に嬉しく思いますし、偏に、私のわがままに疑問や不満を抱きながらも共に頑張ってくれた委員会メンバーをはじめ、事務局、正副議長の支えがあったからこそだと思っています。

「議会だよりアンケート」では、「コメントもいただきましたが、私たちに議会の状況を伝える義務があると思っています。今後は、1人でも多くの町民に愛される紙面作りを心掛け、努力し続けていきたいと思ひます。」

4月8日 石岡 実成 記

議長 伊東 圭介

議会広報常任委員会

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 窪田 美樹 | 笠原 俊一 | 中村 和雄 | 石岡 実成 |
| | | 土佐 洋子 | 伊藤 航平 |
| | | 荒井 直彦 | |